

# かわねほんちょう 議会だより

第73号

令和6年2月発行

発行 / 川根本町議会  
編集 / 議会広報委員会

## プロギングによる散策ツアー参加者 SDGsの実践

笑顔でハイポーズ



美しい自然を守る ゴミゼロ

10月臨時会・12月定例会で決まったこと……	2～3
賛否の分かれた議案……	4
大井川鐵道全線復旧に向けた議員意見書……	5
より一層安心して暮らせる町へ……	6
全員協議会での議論……	7
議員 町政を問う……	8～13
あの質問どうなってるダヤ～……	14

**新シリーズ** 皆さんの声を議会へ  
編集後記

川根本町議会



## 10月臨時議会 で決まったこと

令和5年第3回臨時議会が、10月25日開会され、同意1件、議案6件を全員賛成で可決した。

### 監査委員の選任

《同意第1号》

山本 銀男 氏

(下長尾) 任期4年間

### 工事請負契約の締結

《議案第50号、53号》

○令和5年度林道水川線(1号箇所) 災害復旧工事

【契約額】 6985万円

【契約先】 (株)梶山組

○令和5年度町道下泉河内川線道路災害復旧工事

【契約額】 1億8898万円

【契約先】 徳山建設(株)

○令和5年度町道長松線1号箇所道路災害復旧工事

【契約額】 1億2452万円

【契約先】 (株)梶山組

○令和5年度普通河川小

繕料70万円

## 12月定例会 で決まったこと

令和5年12月1日から19日まで定例会が開会された。同意12件、議案17件が上程され、内2議案は第一常任委員会に付託され、審査を行った。8日には付託議案以外の議案等可決し、最終日には付託された2議案と、追加議案(一般会計補正予算第7号)を可決した。また、議員発議による意見書の提出も行った。

### 条例の制定

《議案第56号》

○川根本町一般職の任期付職員採用等に関する条例の制定について

専門的知識や経験が必要な場合や行政サービスの充実のために、一定の期間を定めて採用する制度を導入する。

(関連記事6ページ)

### 条例の一部を改正する条例

《議案第57号、61号》

○川根本町課設置条例の一部を改正する条例

令和4年台風15号の教訓から町の危機管理部門を独立させた新たな組織(課)を設置する。

令和6年4月1日から。

○川根本町印鑑条例の一部を改正する条例

「利用者証明用電子証明書」機能が搭載されたスマートフォンを用いれば、コンビニエンスストアで、印鑑証明書の交付を受け

### 固定資産評価審査委員会委員の選任

《同意第2号》

澤本 勝美 氏

(地名) 任期3年間

○山田友兵衛氏

(梅高) 再任

○長嶋 一幸氏

(田野口) 新任

○山下 尊氏

(地名) 新任

○丹野 浩之氏

(水川) 再任

○小田 康利氏

(元藤川) 新任

○瀧尾 政之氏

(瀬平) 新任

※委員定数11名(新任8名、再任3名)

※任期3年間

※認定農業者3名以上、利害無関係の者1名以上の選任が必要

### 農業委員の任命

《同意第3号、13号》

○芹澤 利恵氏

(小長井) 新任

○筑地 美帆氏

(小長井) 再任

○橋本 立生氏

(田代) 新任

○風間光一郎氏

(桑野山) 新任

○山田 敏男氏

(久野脇) 新任

### 補正予算

(令和5年度)

《議案第55号》

○町一般会計補正予算(第5号)

本川根高齢者デイサービスセンター空調室外機修繕料70万円

### 工事請負契約の変更契約の締結

《議案第54号》

○令和3年度林道平栗線(1号箇所) 災害復旧工事(8月豪雨災害)

【変更請負額】 1億5913万7千円

【変更による増額】 1833万7千円

【請負業者】 (株)柳澤組

### 補正予算

(令和5年度)

《議案第55号》

○町一般会計補正予算(第5号)

本川根高齢者デイサービスセンター空調室外機修繕料70万円

ることができる。

○町特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部を改正する条例

常勤で特別職の期末手当を100分の10引き上げる。

○町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

若年層を重視し、給料額と初任給及び特別給(期末、勤勉手当を一般職100分の10、再任用100分の5)引き上げる。

○町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

妊産婦の世帯主に対して国民健康保険税の「所得割額」「被保険者均等割額」を免除する。期間は出産予定日に属する月の前月(多胎妊娠は3ヶ月前)から出産予定月の翌々月まで。令和5年11月の出産から免除対象。

公の施設の指定管理者の選定(キャンプ場他7施設)

《議案第62号、68号》

○くのわき親水公園キャンプ場

○三ツ星オートキャンプ場

○不動の滝自然広場オートキャンプ場

○アプトいちしろキャンプ場

○池ノ谷キャンプ場

○八木キャンプ場

○ウッドハウスおろくぼ

※10月31日指定管理者選考委員会において選定(指定管理者の継続)



通年営業(R4実績20,761人)の「くのわき親水公園キャンプ場」

補正予算

(令和5年度)

《議案第70号、75号》

○町一般会計補正予算

(第6号) 2億2540万円追加し、総額を79億910万円とする(内訳抜粋)

▼光幹線系ケーブル修繕(台風15号で被災した箇所・大鐵田野口、下泉駅間) 130万円

▼障害者自立支援給付費 773万1千円

▼町新斎場建設用地測量・調査業務委託 490万円

▼町営住宅清掃・修繕(大島団地) 100万円

▼茶業振興対策費(農事組合法人 川根美味しいたけ《地名》への産地生産基盤パワーアップ事業費補助金と町付け増し) 1億4700万円



荒茶加工機械を導入し、煎茶工場を整備 有機栽培茶の生産拡大を目指す

▼レイクコテージ奥大井トイレ浄化槽追加清掃 97万円



井川線にバキュームカーを乗せて作業した

▼教科書移行用補助教材購入 512万1千円

▼工事請負費(町道3ヶ所の災害復旧工事用生コン他資材単価上昇分) 2500万円

○町国保事業特別会計補正予算(第1号) 給与改定、国保税システ

ム改修計228万円追加し、総額8億1628万円とする。

○町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

給与改定、介護認定調査委託計85万1千円追加し、総額13億3077万5千円とする。

○町いやしの里診療所事業特別会計補正予算(第3号)

給与改定38万円追加し、総額5204万2千円とする。

○町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

給与改定、水川取水ポンプ場送水弁・下長尾配水池水位計の修繕計233万円追加し、総額2億5049万1千円とする。

○町一般会計補正予算(第7号) 8890万円

を追加し、総額79億9800万円とする。

令和5年度「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業」

▼低所得世帯給付金62

51万9千円（7万円×850世帯他）

▼私立保育園給食食材負担軽減13万円（保護者負担金なしとするため）

▼プレミアム（かわね支え愛）商品券「第6弾」2625万1千円



共通券が2枚増えて、より使いやすくなったプレミアム券

### 議員 発議

《発議第3号～4号》

○町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

例 期末手当が100分の10増となる

○大井川鉄道本線の全線復旧早期実現に関する意見書の提出

（関連記事5ページ）

### 賛否が分かれた議案

議案番号	件名	中澤 莊也	中田 隆幸	中野 暉	野口 直次	杉山 広充	大竹 勝子	澤西 省司	中原 緑	藤田 至	中野 浩和	佐々木直也
議案第56号	川根本町一般職の任期付職員の採用等に関する条例について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第57号	川根本町課設置条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第58号	川根本町印鑑条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第59号	川根本町特別職の職員で常勤のものの給料等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

※石山貴美夫議長は、採決に加わりません。

### 討 論

#### 【一般職の任期付職員採用等条例】 （議案第56号）

反 対 大竹勝子

不安定な雇用形態で、専門職や高度な技能や経験を持つ外部人材に頼ることは災害への対応など丸投げになりかねない。常勤職員のスキルアップで町民サービスの質を高めたい。中澤荘也

賛 成 中澤荘也

複雑・高度化する行政課題等に速やかに対応していくことを目的に、町の一般職員の任期付職員の採用に関する法律に基づく制度を導入するために必要な条例の制定であり、賛成する。

#### 【課設置条例】 （議案第57号）

反 対 大竹勝子

今でさえどういった事務をどこの課が担うのかわかりにくい状態なのに、

今以上に煩雑になってしまい、災害時、誰が陣頭指揮を執るのかといった混乱が懸念される為反対する。

賛 成 中澤荘也

課の新たな設置には、条例の改正が不可欠である。課の設置の目的は、激甚化・多様化する災害への備えや対応を迅速かつ確実にするためであり、問題は無いことから、本議案に賛成する。

#### 【印鑑条例】 （議案第58号）

反 対 大竹勝子

便利になる反面、セキュリティ上の面でスマホを紛失したり、盗難にあつたり、ウイルス感染した時マイナカードに紐づけられた個人情報が高まる為反対とする。

賛 成 中澤荘也

マイナンバーカード所持者の有益性・利便性の向上を図る目的を持ったも

のであり、上位法の改正による条文の追加であり、なんら問題が無いと考える。よって本議案に賛成する。

#### 【常勤特別職給料等改正条例】 （議案第59号）

反 対 大竹勝子

人事院勧告に準じて町3役の期末手当を増額するもので、物価高騰し、パートの方の約1ヶ月の給料にも匹敵する引き上げで、一般勤労者の生活実感に照らし、バランスが取れない為反対する。

賛 成 中澤荘也

特別職の特別給の年間支給月数を0.1月分引き上げ、年間4.50ヵ月分とするために必要な条例の一部改正であり、人事院勧告の主旨から考えて何ら問題が無いことから本議案に賛成する。



〈地名付近〉



〈正島付近〉

## 鉄道災害状況

町議会全議員の賛成により

発議第4号

# 「大井川鐵道本線の全線復旧実現に関する意見書」を提出

意見書は12月19日の議会で採択しました。

(要望内容)

○国土交通省、静岡県、大井川鐵道が川根本町を含む沿線市町とともに、大井川鐵道全線復旧の早期実現に向けて具体的に取組むことを、川根本町議会として強く要望する。

(伝えたいこと)

○大井川鐵道本線は、令和4年9月の台風15号により被災し、いまだ川根温泉笹間渡駅から千頭駅間は復旧の目途が立たない状況である。

○大井川鐵道は100年近い歴史があり、近年はSLや沿線の多くの観光資源に恵まれた魅力ある鉄道として、全国から注目されており、静岡県観光基本計画では、中部地域の重要な観光資源として位置づけされている。

○沿線の地域住民にとっては、鉄道の不通により非常に大きな不便を強いられており、観光・地域経済への影響は計り知れない。

○過日、地域住民有志による全線復旧を支援するための署名活動が行われ、沿線住民をはじめ全国から約35,000もの署名が集まった。

(提出先)

国土交通省、静岡県知事



(原風景を取り戻そう！)

# 議案第57号「川根本町課設置条例の一部を改正する条例について」が可決 「14課1局体制へ」

令和6年度から

## 「危機管理課」が新設されます

令和4年台風15号の教訓を生かし、「安全」の実現のため、町の危機管理部門を独立させた新たな課を設置。



自衛隊、消防との連携をよりスムーズに

### 関連して

議案第56号「川根本町一般職の任期付職員の採用等に関する条例」が新たに制定されたことにより、危機管理に特化した職員の受け入れ態勢が整備される見込み。

## 防災・災害対応の充実へ

議案56号  
議員からの質問(抜粋)

**問** 新たに採用する必要とその事情は。

**答** 複雑・高度化する行政ニーズに対応するため。

**問** 具体的に、見込んでいる登用はあるか。

**答** 危機管理分野に登用したい。他市町では自衛隊経験者の採用例が多数ある。

**問** 危機管理を例にする、具体的にはどんな業務を行うのか。

**答** まずは、体制の検証、見直し、強化等、次に、災害初期段階での消防署や自衛隊との連絡調整である。

**問** 常勤か。

**答** 常勤である。

**問** 元役場職員は対象か。

**答** 危機管理を主眼とした場合は考えていない。

**問** その他業務に必要であるとするれば、可能性はあるか。

**答** 元役場職員は対象とした場合は考えていない。その他業務に必要であるとするれば、可能性はある。

### 議会が注目

### 注目

### したこと

#### ① 農業委員会が新体制へ

― 定数11名のうち8名が新人 ―  
委員の選考の理由、地域のバランス、年齢、性別の偏りなども確認して承認。



#### ② 観光施設の指定管理者の報告書について、内容の統一を要望。

より正確な運営状況の把握のため、会計の処理方法の統一などを求めた。



#### ③ 第2回「大井川鐵道本線沿線における公共交通のあり方検討会」の報告をうけて

町内全戸に配付のチラシに載せる情報の内容、書き方について要望。



# 全員協議会

毎月行われている全員協議会（町政の現状や課題について町長等の出席を求め全議員で話し合う会議）の11月、12月分を抜粋して報告します。



アプトいちしろキャンプ場  
（町ホームページより）

## 11月21日の議題

【川根高校の募集定員について】

**問** 80人から40人となるが、現在あるコースは継続されるのか。

**答** コースは今までどおり継続される。教員数は、1人減となる。

【ドローン物流事業における連携協定について】

**問** 島田市等の近隣自治体と連携した事業展開は考えられないか。

**答** 近隣自治体と連携した事業展開は問題はないが、現時点では、これに関して協議していない。

**問** 連携協定の相手はどのように選考したのか。

**答** 実証事業を契約している「エアロネクスト」を選定した。

**問** 事業スケジュールの想定はいかがか。

**答** 事業スタートは令和六年度、行政支援を3年間とし、令和九年度からは、民間サービスの社会実装を想定している。

## 12月8日の議題

【公の施設の指定管理者の指定について】

**問** 不動産の滝キャンプ場の減価償却費と池谷キャンプ場の租税公課はどうか。

**答** 不動産の滝キャンプ場に関しては、自己資産が存在するため減価償却費が発生する。池の谷キャンプ場の租税公課は法人税と認識している。

**問** 収益が発生していれば法人税申告を行う必要がある。町としての指導は。

**答** 税務担当とも連携して確認する。今後の指導も行っていく。

**問** 町有地でキャンプ場を運営している場合、事業者は借地料を町へ納付しているか。

**答** そのとおり。納付している。

**問** ウッドハウスおろくぼでは、他の助成金を活用しているようだが、どのような事業なのか。

**答** 事業者独自で、公の助成制度を採って活用している。どの所管の制度で、どんな内容かまでは把握していない。

**問** ウッドハウスおろくぼの指定管理委託料500万円は、何を基準に算出されているのか。

**答** 過去の経緯から500万円という基準額が算出されていると認識している。仮に、これでは足りないということになれば他の事業者を選定することになるのかと考えている。

## 12月19日の議題

【学校施設利活用検討委員会（12月11日）出席議員の報告について】

**問** 第一小学校は、令和六年度から準備し、七年度から指定管理というスケジュールか。

**答** 総務課と経営戦略課で再度検討し、利活用検討委員会に提示する。その後、利活用について、

公募という形で進めたい。**問** 校舎の改修等に、合併特例債を使うのか。

**答** 令和七年度までの合併特例債なので活用したいと考えている。

**問** 指定管理制度の活用を考えているか。

**答** 指定管理制度を活用していきたい。このことは、利活用検討委員会の理解をいただいていると考えている。

第一小学校については公募をし、その提案を、利活用検討委員会でも説明をし理解を得た上で、段階を踏んで決めていきたい。



旧中川根第一小学校



大鐵15号災害現場を議員で視察  
またみんなでSLの音を聞きたい

のぐち なおじ  
**野口 直次**  
議員



林道南赤石線の路面の状況

**質問** 公共交通として今後の町と大鐵の関わりは

**答え** 基本的には笹間渡千頭間開通を求めていく

質問：11月29日に第2回大鐵の公共交通のあり方検討会が開かれた。次回全線運行再開に向けて、必要となる費用の調達方法、役割分担が検討されるようだが、いずれ具体的になる町の分担、大鐵に対しての分担、負担軽減のために、国、県に上乘せをお願いするのか。

経営戦略課長：補助金で定められている負担割合を基本的に、今後協議していく。本町は財政的にも豊かではない。国、県の支援が不可欠だと思う。

開通を考えているか。  
町長：提示された金額については、有利な起債を活用する。今後の対応の中で進めていこうと思う。基本的には全線開通を求めている。その間の、千頭から青部とか、いろいろな方法の使い道は大鐵等と検討していきたい。

**質問** 台風15号の災害復旧工事の進捗率について

**答え** 22箇所のうち発注率約68%。完成は1箇所

質問：現時点で町道と林道の災害復旧工事の進捗状況はいかがか。  
町長：町道・林道に河川を加えて、22箇所あり、現在15箇所が発注済み。発注率約68%、現在完成しているのは、河川の1箇所のみである。

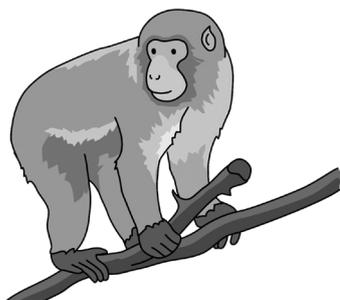
の危険度状況は把握しているのか。  
町長：路面状況を確認し、既に11月に舗装修繕工事を発注した。上長尾から尾呂久保間の舗装修繕工事を令和6年度に実施する計画である。

対象になるのか、また未施工の林道水川線2号箇所、林道小河内線3号箇所の工事は来年予定されているが、同様に補助があるのか。  
建設課長：補正予算に計上した増額分も補助対象になる。また、未施工の2路線も災害申請を行っているので対象になる。

質問：尾呂久保地区の上の林道南赤石線の路面の



さわにししょうじ  
**澤西 省司**  
議員



サルの被害が拡大している



サル用大型捕獲おり

## 質問

サルの集団をまとめて捕獲する考えはないか

## 答え

サル用の大型捕獲おりの導入を来年度めざす

質問：サルやニホンジカを毎年捕獲しているが、減少傾向に無い状況をどのように捉えているか。

町長：狩猟者の減少による捕獲率の低下などが、サルなどの減少にいたらない要因と考える。

質問：サルは集団で行動するので、まとめて捕獲するようなことについてはどのような考えか。

町長：サルの群れで行動する習性を利用して、サル用大型捕獲おりの導入を来年度めざしたい。

質問：町は年間害獣捕獲上位者に対して、功労賞を設けて表彰し、猟師の方への感謝と存在感を上げるべきではないか。

町長：提案された功労賞は、捕獲意欲の向上を図るための一つの手法だと思ふ。

関係者の意見を伺いなが

ら、日ごろの感謝を伝えることができ、捕獲意欲の向上が図られる施策を検討していく。

質問：町民が愛する家庭菜園は生きがいであり、健康維持に大きな役割を果たしている。たび重なる害獣被害により家庭菜園をやめたくなったというような思いにさせることは、町民への対応が停滞していることだと思ふがいかがか。

産業振興課長：被害の防止対策として、防除のための設備設置を対象とした補助事業を広報等により、なおいっそうの周知に努めていく。

質問：サルは人間をよく観察しているので、捕獲が非常に難しいと聞いている。このことが猟師のサル離れにつながっているのではと危惧している。

産業振興課長：現在猟期中ですので、終わった段階など早い時期に猟友会と協議の場を持ちたいと考えている。

関係者の意見を伺いなが



介護研修会の様子

おお たけ かつ こ  
**大竹 勝子**  
議員



こんなにえぐられてしまった線路(地名付近)

**質問** ため込んだ基金で、介護保険料の引き下げを

**答え** 十分に活用し、適切な保険料設定にしたい

質問：特養の入所は要介護3以上が対象だが、それ以下でも入れる特例入所はどのような条件の方が、入所できるのか。  
高年齢福祉課長：一人暮らし等で介護者がいないような特別の事情が勘案される。

質問：一人暮らしの元気なお年寄りとし支援が

必要な方が、一緒に生活できるように管理者を置く。そして買い物・安否確認・通院等の生活支援や介護も受けられるという国の制度に縛られないような「サービス付き高齢者住宅」を整備する考えはないか。

高年齢福祉課長：施設の施設の新設計画はないが、高齢

者福祉介護保険部会と協議し、必要であれば計画に盛り込んでいく。  
質問：来年度からの介護保険料は1億6千万円余基金を取り崩して引き下げるべきと考える。  
高年齢福祉課長：次期計画において十分に活用し適切な保険料設定をしていきたい。

**質問** 大井川鐵道本線復旧にどう対処していくのか

**答え** 調査結果を踏まえ、関係機関と協議していく

質問：大鐵本線の運休が長期化している問題にどのように対処しようと考えているか。

町長：第2回大井川鐵道本線沿線における公共交通のあり方検討会が行われ、調査結果を踏まえ、改めて災害復旧等に係る費用が提示された。提示された課題について関係

機関と協議していく。  
質問：私たちが、提案していた大井川の堆積土砂の運搬に大鐵活用を求めた発言が出てきたのでしようか。

経営戦略課長：まず復旧等の議論であり、その議論は、出ていない。  
質問：国交省に出向いて行った時、この提案に対

して町全体が一丸となって取り組めば受け入れられる反応でした。補助金より、実現性や持続性が高いと考えるがどうか。

経営戦略課長：全線復旧に向けた課題等、費用負担等様々な課題について検討していく。  
他に学校給食無償化についても質問あり。



なかざわ そうや  
**中澤 荘也**  
議員



ここ数年姿をみない町の鳥ヤマセミ



狩猟体験ツアー 獣の命をいただく

質問 地域おこし協力隊任期満了後の支援が大事

答え 「協力隊起業等補助金制度」の活用を図る

質問：地域おこし協力隊活用の成果と課題は。

町長：成果としては、2名の隊員が、任期満了後において、町内の企業に就職、または起業することとで、現在も町内で活動している。課題としては、受入側とのコミュニケーション不足があげられる。

質問：任期満了後における

質問：地域おこし協力隊活用の成果と課題は。

町長：活動終了後についても、その経験を活かし、当町に残っていただきたいと考えている。

質問：地域おこし協力隊の採用条件等は。

町長：成果としては、2名の隊員が、任期満了後において、町内の企業に就職、または起業することとで、現在も町内で活動している。課題としては、受入側とのコミュニケーション不足があげられる。

質問：任期満了後における

質問：地域おこし協力隊の採用条件等は。

質問：地域おこし協力隊活用の成果と課題は。

町長：活動終了後についても、その経験を活かし、当町に残っていただきたいと考えている。

質問：地域おこし協力隊の採用条件等は。

質問 ユネスコエコパーク登録10周年記念事業は

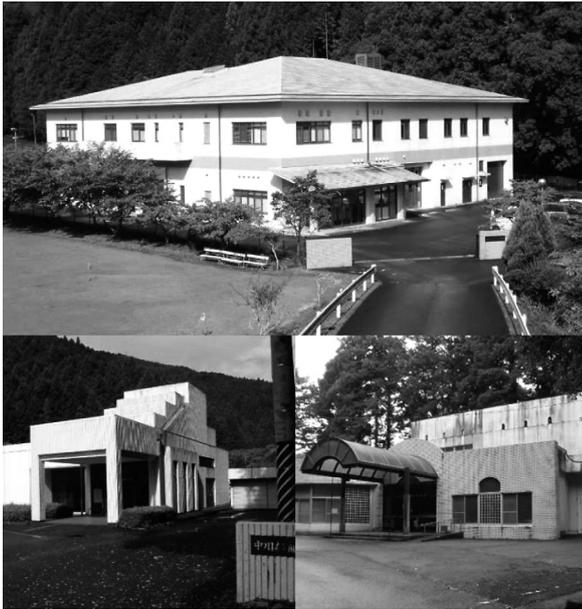
答え 自然体験ツアーや希少生物等実態調査を計画

質問：ユネスコエコパーク登録の意義や理念、価値があまり住民に理解されていない。どのようにして、住民の意識啓発を図っていく考えか。

町長：10周年事業として記念講演会や住民向け講座の開催、パンフレットの配布を通して、南アルプスの豊かな自然環境と

質問：ユネスコエコパーク登録10周年記念事業として、原生自然環境保全

※掲載記事は発言議員の寄稿によるものです



「新町建設計画」においての主要事業である、「斎場」と「し尿処理施設」

さ さ き な お や  
佐々木 直也  
議員



生きる権利

住む場所や食べ物があり、医療を受けられるなど、命が守られること



育つ権利

勉強したり遊んだりして、もって生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できること



守られる権利

紛争に巻き込まれず、難民になったら保護され、暴力や搾取、有害な労働などから守られること



参加する権利

自由に意見を表したり、団体を作ったりできること

(出典：公益財団法人日本ユニセフ協会ホームページ)

川根本町式「子どもの権利条例」の制定は、当町の大きな転換になり得る

質問

来年度予算において、重点事項は。

答え

安心・安全に暮らしていける町を目指す。

質問：来年度予算を組むにあたっての重点事項は。

先に完成させたい。

町長：安心・安全に暮らしていける町を目指し、被災したインフラの再整備、主要産業の活性化などに力を入れる。

質問：町が管理する住宅は、通年申し込みができる状態であるか。

質問：任期において、必ず達成したいことは。

質問：災害に備えるという観点からも、退去後速やかに入居できるように対応してもらいたい。

町長：「新町建設計画」における主要事業を最優先で進めたい。

町長：努力する。

質問：子どもたちが日頃疑問に思っていることや希望などを聞き取り、町政に反映するためにも、「子ども議会」の開催をするのはいかがか。

質問：国連総会で採択された「子どもの権利条約」を基に、川根本町式の「子どもの権利条例」の制定の検討はいかがか。

町長：ふるさとへの提言

町長：子育て支援事業計画」の協議の中で、条例

質問：観光集客事業について、来年度の考えは。

質問：観光交流課長：今年度事業の効果を検証し、選択と集中を図りながら実施していく考えである。

質問：補聴器について、何らかのリサーチや検討は行われたか。

質問：高齢者福祉課長：他市町の状況を確認中である。

質問：子ども議会」の開催はいかがか。

町長：子どもたちが日頃疑問に思っていることや希望などを聞き取り、町政に反映することが理想である。

質問：国連総会で採択された「子どもの権利条約」を基に、川根本町式の「子どもの権利条例」の制定の検討はいかがか。

町長：来年度策定の「子ども・子育て支援事業計画」の協議の中で、条例

質問：観光集客事業について、来年度の考えは。

質問：観光交流課長：今年度事業の効果を検証し、選択と集中を図りながら実施していく考えである。



なか はら  
**中原**  
みどり  
**緑**  
議員

**「たびスタ」休暇とは**

平日の家族旅行を推奨し、旅育の推進と平日や閑散期の観光需要のシフトによる地域経済の活性化を目指す取り組みで「旅」と「学習(スタディ)」を組み合わせた別府市の新しい学び方・休み方です。地域家庭との教育活動の一環と捉え、校外活動として欠席とはせず「出席停止等」と同じ扱いとなります。

別府市「たびスタ」休暇申請書から



寸又峡「夢のつり橋」への遊歩道入口

**質問**

寸又峡遊歩道の有料化実施、スケジューリングは。

**答え**

まだ課題が解決できていない。検討を続ける。

質問：遊歩道の有料化で、町が業務委託をするのは、既存の組織か新規か。

質問：遊歩道の有料化で、ここで止まっているのか。

質問：現行制度での課題は高齢化と人手不足とのこと、町からの提案は。

観光交流課長：新しい組織を設置するという結論にまで達していない。地元の人々が入ることは必要不可欠で、どういった組織が必要なのか検討していく。

観光交流課長：組織が決まらなないと、様々なものが動き出していない。

観光交流課長：入場の自動化など議論を進めてきた。地元住民だけでなく民間企業や若い力を含めた新しい組織が必要ではないか、協議をしている。

質問：地元では早く実施

観光交流課長：その議論を進める前にどういう組織の学力保証・利用できる家庭への配慮も必要。

質問：この制度は余暇の自由の平等性を克服し、教育に新たな多様性をもたらす契機にならないか。

**質問**

別府市で行っている「たびスタ」の導入は。学校の配慮は。

**答え**

制度の先行導入は、ニーズがあれば検討していく

質問：別府市「たびスタ」愛知県「ラーケーション」は子どもが平日に学校を休める制度で、土日に休めない宿泊・飲食・サービス業でも平日に子どもと旅行に行ける。保護者から「当町でも取り組みないか」との声があるが

質問：愛知県の定義「子どもが保護者と共に校外で体験探求の学び・活動を自ら企画、実行する学習活動」について考えは。

質問：子どもの主體的な学ぶ姿勢、それを支える保護者・地域社会の意識変換、改革が前提で、「学校だけではなく、いろんな場所で学べるんだ」という意識の醸成が必要

教育長：利用実績も上がっているものの、休んだ

教育総務課長：今後の各市町の動向を調べ、町内全体の中で必要性を見て判断していきたい。

教育長：子どもを主体的に学ぶ姿勢、それを支える保護者・地域社会の意識変換、改革が前提で、「学校だけではなく、いろんな場所で学べるんだ」という意識の醸成が必要

令和4年6月議会

質問者 中澤 莊也議員

質問：带状疱疹予防接種への公費（一部）負担を

答え：希望者への一部負担を検討していきたい

質問：带状疱疹の予防接種を希望する人たちに対し、発症の予防等の観点から、公費負担を行う考えはないか。

町長：費用の一部助成制度の創設については、現状においては予定していないが、関係所の意見を聴きながら、希望者への一部助成を検討していく。

結果：令和5年4月1日から带状疱疹ワクチン予防接種費用の一部助成実現

「助成額」

1回4000円

「助成回数」

◎生ワクチン（ビケン）は1回

◎不活化ワクチンは2回まで



皆さんの声を議会へ

◆世代交代の時

太田 起博 75歳

最近私は、活気ある若者達と話す機会が増えた。飲み会に誘えば、国会議員と堂々と話し合う。議員も本気で相手をする。我々の若い頃とは雲泥の差である。区内でも若者が活躍する。会社を作る者もいる。災害では消防団が活躍する。若い力に我々は、とてもかなわない。私には若者達が本当に頼もしく感じられる。これからは当町としても、今の時代に合った考えを持ち、活気溢れる若者達を議会や行政（〇〇委員会）などに、せめて半数以上位採用し、活躍する場を作ったらどうであらうか。若者達の活躍なくしてこの町の将来はないと考える。口だけ達者になった私達は、ただひたすら応援すればいいのです。

◆議会に思うこと

一町民

町民との「距離」を縮めるために「町民と話す場」を設けてほしい。特に若者の声を聞いてほしいです。又、移住者の方々の声も聞いてほしい。移住者の方々は、川根本町を外から見ることができると感じています。町の上層部だけの考え方で物事が進み、ほぼ決まってから「説明会」を開催する昔からのやり方では、町民として納得がいきません。意見も、考え方も言えない「町づくりに魅力は感じません。若者は、どんどん出て行ってしまいます。この町の人たちは「出る釘は打たれる！」ことを、よく解っています。「旧態依然」の今までのやり方を、少しずつ変えていく必要があると思っています。人口の少ない小さな町だからこそ、できることがあると思います。

編集後記

「昇龍の如く、飛躍の一年であれと願う」  
新メンバーになつての初めての議会だよりです。

議会が皆様方に身近な存在と感じていただけるよう、皆様方の声や議員が行った質問で施策や事業として反映されたものを紹介するコーナーを設けました。是非一読ください。また、議会だよりに関する感想、ご意見など、遠慮なくお寄せください。

中澤 莊也



- 〈広報委員会〉
- 委員長 中澤 莊也
- 副委員長 大竹 勝子
- 委員 杉山 広充
- 委員 中原 緑
- 委員 佐々木直也

◆ 3月定例会の日程 ◆

3月4日	月	9:00～	本会議（定例会・初日）
		本会議終了後	議会運営委員会・全員協議会
14日	木	9:00～	本会議（定例会・2日目）
		本会議終了後	議会運営委員会・全員協議会
22日	金	9:00～	本会議（定例会・最終日）

議会はどなたでも傍聴できます。



表紙の写真

- 地域おこし協力隊の活動の一コマ
- ゴミ拾いとジョギングを合わせた活動